

ホストタウンについて



内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

ホストタウンとは

- 東京大会の開催により多くの選手・観客等が来訪することを契機に、全国の地方公共団体と大会参加国・地域との相互交流を図るとともに、地域の活性化等を推進
- 東京大会までに462件を登録（自治体数533、相手国・地域数185）

3つの交流全てを行う交流計画を作成

◆大会参加者との交流

大会前後で大会に参加した外国人の選手（オリンピック・パラリンピアン）と交流

◆大会参加国・地域の方々との交流

相手国からゲストを招き、歴史や文化を知る

児童・生徒同士の交流（お互いの文化を紹介）

◆日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流

過去にオリンピック、パラリンピックに参加したことのある方々との交流
（競技体験、講演等）

交流のきっかけ

- ◎ 姉妹都市・友好都市提携がある
- ◎ オリンピアン・パラリンピアン出身者がいる
- ◎ 既に合宿で利用されたことがある（世界選手権など）
- ◎ 国体で整備した競技会場がある
- ◎ 地域に指導者がいる
- ◎ 地域を代表する花が同じ
- ◎ 地元企業の工場がある
- ◎ たまたま紹介された
- ◎ 地域名が同じ
- ◎ 歴史的つながりがある

大陸別ホストタウン登録状況

アフリカ	42 / 54 (78%)
アメリカ	41 / 41 (100%)
アジア	35 / 44 (80%)
ヨーロッパ	50 / 51 (98%)
オセアニア	17 / 17 (100%)
計	185 / 207 (89%)

復興ありがとうホストタウン

被災3県(岩手・宮城・福島)の地方公共団体が、東日本大震災から復興した姿を見せつつ、これまでの支援への感謝を伝えるために、支援をしてくださった国・地域の方々や大会関係者との交流を行うホストタウン(2017年9月創設)

【主な取組】

○復興ありがとうホストタウン連絡協議会(2019年6月設立)

- これまでに4回の総会を開催。(第4回:2021年9月14日にオンラインで実施)
 - ※ ポケモン(ラッキー、ラプラス、イシツブテ)を「復興ありがとうホストタウン大使」に任命(第2回)
- 会長(橋本オリパラ大臣・当時)と副会長(岩手県山田町長、宮城県加美町長、福島県南相馬市長)のオンライン意見交換を実施。(2020年9月)

○復興ありがとうホストタウンサミット

- 「復興ありがとうホストタウンサミット in Jヴィレッジ」を福島県Jヴィレッジで開催。(2019年11月)
- 「復興ありがとうホストタウンサミット in 仙台」をオンラインで開催。(2021年1月)
- 「復興ありがとうホストタウンサミット」をオンラインで開催。(2021年9月)

○ホストタウン同士が連携した取組

- 米国を相手とする復興ありがとうホストタウン(岩手県花巻市、大船渡市、福島県喜多方市、南相馬市)によるPRイベント(シンポジウム、レセプション)を米国ロサンゼルスにて開催。(2019年9月)
- 台湾を相手とする復興ありがとうホストタウン(岩手県大槌町、野田村、福島県南相馬市、北塩原村)が、台湾で開催された漫画・アニメのイベントに出展。(2020年1~2月、2021年2月)



ポケモン(ラッキー、ラプラス、イシツブテ)を「復興ありがとうホストタウン大使」に任命。



復興ありがとうホストタウンサミット(オンライン)



台湾でのイベントへの出展

共生社会ホストタウン

共生社会ホストタウンは、パラリンピアンとの受入れを契機に、各地における共生社会の実現に向けた取組を加速し、2021年以降につなげていくもの（2017年11月創設）

○ パラリンピアンとの交流

東京大会直後の交流も含め、幅広い形でのパラリンピアンとの交流を通じ、パラリンピックに向けた機運を醸成するとともに、住民がパラアスリートたちと直に接することで、住民の意識を変えていく。

○ 共生社会の実現に向けた取組

障害のある海外の選手たちの受入れを契機に、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーに向けた、自治体ならではの特色ある総合的な取組を実施。大会のレガシーにもつなげていく。



台湾パラ陸上選手と小学生との交流(高松市)



カナダ車いすラグビーチームと小学生との交流(三沢市)

【共生社会ホストタウンサミットについて】

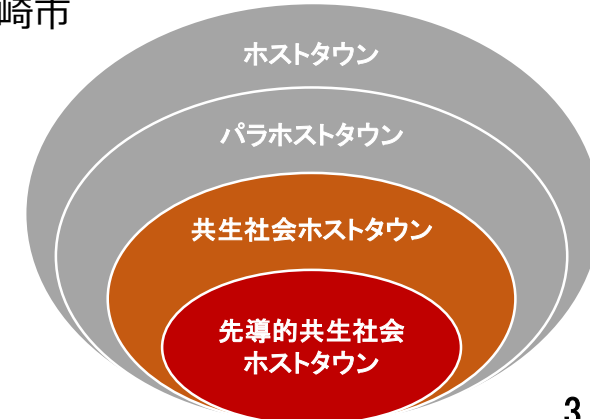
- 共生社会ホストタウンの取組の共有・発信を目的とし、全国の**先導的共生社会ホストタウン**（※）で毎年度開催
- 2018年度は山口県宇部市、2019年度は福岡県飯塚市で開催し、2020年度は東京都世田谷区・神奈川県川崎市による共催（コロナ禍のためオンライン開催）
- 2021年度は福島県福島市をメイン会場とし、オンラインで開催（9月11日）



共生社会ホストタウンサミット in 福島(2021年度)

（※）先導的共生社会ホストタウン（2019年5月創設）

共生社会ホストタウンのうち、ユニバーサルデザインの街づくり及び心のバリアフリーの取組が特に先導的・先進的と認められる自治体を内閣官房が認定し、関係省庁・関係団体の取組を活用して重点的に支援するもの



「オリンピック休戦決議」での言及

- 2019年12月9日に国連総会で全会一致で採択されたオリンピック休戦決議（正式名称：「スポーツとオリンピックの理念を通じた平和でより良い世界の構築」。186か国が共同提案）において、「ホストタウン・イニシアティブ」が取り上げられた。

“長期に及ぶ草の根レベルでの関係が2020年以降も続くことを可能にする「ホストタウン・イニシアティブ」を通じて、日本の地方の市民と国外の参加アスリートとの間で行われる交流を促進しようと努めている”

- この決議では、東日本大震災への支援に対する謝意も表明されている。
- オリンピック史上初となる「ホストタウン・イニシアティブ」として、大会組織委員会や外務省HPで紹介。

(参考) オリンピック休戦決議

- ・オリンピック開催の7日前からパラリンピック後7日までの期間、世界での休戦を実施（1994年のリレハンメル冬季大会以降、国連総会で採択）
- ・定型部分と各大会独自部分から構成

(東京大会独自部分の内容) 東京大会の基本コンセプト

アジアでの3大会連続開催によるパートナーシップ構築

ホストタウン

東日本大震災への支援に対する謝意表明

平和への貢献

スポーツ・フォー・トゥモロー

持続可能性

外務省website

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたオリンピック休戦決議の採択について（外務大臣談話）

外務大臣談話

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた オリンピック休戦決議の採択について (外務大臣談話)

令和元年12月10日

[英語版 \(English\)](#)

[ツイート](#)

[いいね! 6](#)

[メール](#)

1 本10日（現地時間9日）、ニューヨークで開催されている第74回国連総会において、我が国が提出していた「スポーツとオリンピックの理念を通じた平和でより良い世界の構築」決議（通称：オリンピック休戦決議）が、186か国の共同提案国を得て、全会一致で採択されたことを非常に喜ばしく思います。

2 この決議には、[2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（2020年東京大会）](#) 期間中の全ての国連加盟国の間の休戦に加え、2020年東京大会の基本コンセプト、[官民が連携して進めるスポーツ国際貢献事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」](#)、[ホストタウン・イニシアティブ](#)等、我が国の取組や、[東日本大震災後の我が国に対する世界からの支援への謝意と被災地の復興に向けた姿を示すというメッセージ](#)が込められています。

3 2020年東京大会の成功に向け、引き続き外務省としても関係省庁と連携して取り組んでまいります。

【参考】「スポーツとオリンピックの理念を通じた平和でより良い世界の構築（通称：オリンピック休戦）」決議

ユーゴスラビアにおける休戦を訴えた1994年のリレハンメル冬季大会以降、採択されてきた国連総会決議。慣例上、各大会前年秋にオリンピック・パラリンピック競技大会の開催国が原提案国となり、採択されてきている。

大会前の取組（スポーツキャンプ受入れに合わせた交流）

- 山形県村山市は、2017年6月、2018年6月、2019年7月と3年続けてブルガリア新体操ナショナルチームの合宿を受入れ。
- スタッフ・選手が日本の気候、食、文化などに慣れ親しみ、最高の状態で東京大会に臨みたいという趣旨で村山市で合宿を実施。これまでの合宿では練習の合間に、日本文化の体験（浴衣着付け、茶道、華道等）、日本食の体験、旬のさくらんぼ狩りなどを実施。
- 地元小中学校や特別支援学校への訪問、地元中学校新体操部との合同トレーニング、幼児等の新体操教室での指導などで地元市民との交流も実施。
- 公開演技会（村山市民体育館にて開催）は3年連続満員となった。
- 市民ファンクラブが結成され、ボランティアスタッフとして事前キャンプ期間中のトレーニングや生活面をサポート。



公開演技会の様子



茶道体験



さくらんぼ狩り



ブルガリアとの縁の「バラ」や国旗にちなんだ商品



日本食の体験



昼食、夕食はビュッフェ形式で宿泊しているホテルで一般客にも提供。山形県のGAP食材を活用したメニューも提供。



ファンクラブによるサポート



大会前の取組（ラグビーワールドカップ2019開催時の交流）

○ 各地のホストタウンがラグビーワールドカップ2019の公認キャンプ地等として、選手達と住民との交流を実施。

<主な事例>

■岩手県宮古市×ナミビア

台風19号の影響により釜石での試合が中止となったが、「被害を受けた市民を元気づけたい」とナミビア代表選手が宮古駅前などを訪れ、市民を激励。カナダ代表の釜石でのボランティアの様子とともに大きな話題となった。

■福島県いわき市×サモア

歓迎レセプションや市内幼稚園訪問、公開練習等を通じて市民との交流を深めた。サモアvsロシアの応援バスツアーには50名の市民が参加。市内商業施設でのサモアvs日本のパブリックビューイングには約500名が訪れた。

■神奈川県横浜市×英国（スコットランド、アイルランド）

スコットランド代表HCによる市内高校生向けラグビー教室や、アイルランド代表と関東学院大学ラグビー部の交流など、子どもたちが世界トップレベルの選手と触れ合える貴重な機会を提供。

■福岡県北九州市×英国（ウェールズ）

2018年以降、ウェールズラグビー協会と連携してラグビー教室や市民交流イベントなどを実施。直前キャンプ中の公開練習では15,000人を超える来場者がウェールズ国歌等を大合唱して歓迎。最終戦の翌日には、新聞にウェールズラグビー協会からの感謝の意を込めた全面広告が掲載された。



宮古駅前を訪れたナミビア代表選手との記念撮影



いわき市からの市民応援団（熊谷ラグビー場）



公開練習時のウェールズ国歌等の合唱 6

大会前の取組（2019年の台風等に関連した交流）

韓国で開催されたU18野球ワールドカップに出場したニカラグアの選手がトランジットで成田空港に降り立った際に台風に遭遇し、困っていたところ、ホストタウンとなっている甘楽町がサポート。

群馬県甘楽町



中学生と交流するニカラグア選手

台風被害があった山武市では、ホストタウン担当である国際交流員（スリランカ人）が、在住スリランカ人の支援で活躍。

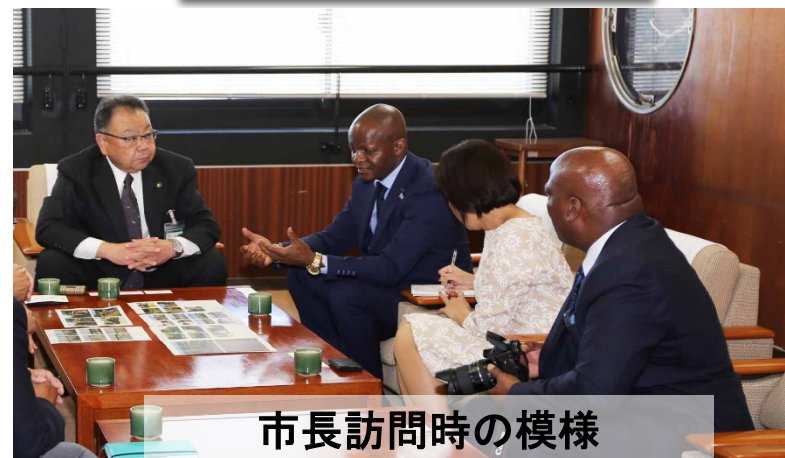
千葉県山武市



ホストタウン交流時の模様

台風や豪雨被害があった佐倉市に、TICAD7サイドイベントで交流を深めたボツワナの在京大使がお見舞いに訪問。

千葉県佐倉市



市長訪問時の模様

大会前の取組(TICAD7でのサイドイベント (2019年8月))

TICAD7（アフリカ開発会議）開催に合わせ、令和元年8月27～30日まで横浜市内において、アフリカをホストタウンとする自治体とアフリカ各国関係者との交流を行う、以下のサイドイベントを実施。

- ・**ホストタウン・スポーツ交流会**；ボツワナのソフトボール選手を迎え、横浜市等の子どもがベースボール5（手打ち野球）で交流。
- ・**アフリカ・ホストタウン首長座談会**；岩手県八幡平市（ルワンダ）、山形県長井市（タンザニア）、福島県南相馬市（ジブチ）、茨城県笠間市（エチオピア）、群馬県前橋市（南スーダン）、鹿児島県三島村（ギニア）の各首長が、これまでの取組や、今後の交流の展望について発表。
- ・**子どもたちとアフリカホストタウンを通じた交流**；八幡平市、二戸市（ガボン）、長井市、南相馬市、笠間市、大阪府守口市（ガンビア）、三島村、沖縄県中城村（カーボ・ベルデ）、北中城村（サントメ・プリンシペ）の子どもたち等がこれまでの交流の発表と選手への応援メッセージを作成。
- ・**音楽による日本とアフリカの融合**；長井市、笠間市、埼玉県幸手市、宮崎県日向市、三島村、中城村、北中城村の伝統芸能奏者がトーゴ、ベナン、チュニジア、ギニアの演奏家とTICAD会場周辺にて共演。



大会前の取組（JICAボランティア隊員の派遣と研修員受入）

- 鳥取県は、2015北京大会でのジャマイカ陸上事前キャンプ等の縁をきっかけに、陸上交流や青少年交流等を意図して姉妹都市を締結したジャマイカ・ウエストモアランド県へ、JICAの自治体連携ボランティア制度を活用し、職員を派遣（2017年1月～2019年1月）。
- ウエストモアランド県からも、自治体国際化協会（CLAIR）の自治体職員協力交流事業（LGOTP）を活用して研修員を鳥取県で受入れ（2016年5月～2019年5月）。
- これらの事業により、人的交流を通じて、友好都市への貢献はもとより、現地情報やニーズの入手（陸上（スポーツ）事情、文化、食、人材等）、日本の情報の拡散を図るとともに、県職員の視野の拡大・人的ネットワークの構築により、陸上交流、青少年交流を中心とした将来的な鳥取県への貢献を期待。



ファイリング指導（ウエストモアランド県庁）



グラウンドゴルフ指導（ウ県知事と）

※JICA自治体連携ボランティア：JICAが特定の自治体と連携し、自治体の特性やリソースの活用により開発効果が期待できる場合には、合意書を締結の上、特定の地域へ自治体職員を派遣する制度。自治体職員の人件費の8割はJICAが負担。（派遣に係る経費はJICAが負担）

※自治体職員協力交流事業（LGOTP）：海外の地方自治体等の職員を研修員として受入れ、技術の習得を図るとともに、受入れ自治体の国際化施策等への協力を通じて地域の国際化を推進する。（受入に係る経費は交付税で措置）

大会延期後の取組（ホストタウンに関する情報発信の強化）

- ホストタウンの交流を国内外に発信するべく、2020年7月、ホストタウン情報発信WEBサイト「世界はもっとひとつになれる Light up HOST TOWN Project」を開設。日本人アスリート・海外アスリートからのメッセージ動画、各ホストタウンからの活動予告・報告、ホストタウンからの応援メッセージ動画、相手国の国歌を歌う動画を掲載。
- 2020年8月には、復興ありがとうホストタウン連絡協議会のInstagramアカウントを開設。各自治体から、復興ありがとうホストタウンになった経緯やまちの魅力等を紹介。
- 大会延期となったこの機会にオンラインでつながるホストタウンと相手国の選手等の様子を情報発信。

ホストタウン情報発信WEBサイト 「世界はもっとひとつになれる Light up HOST TOWN Project」



復興ありがとうホストタウン連絡協議会 Instagramアカウント



大会延期後の取組（オンライン交流①）

- 2020年7月、大槌高校（岩手県大槌町）にて、JICAサウジアラビア駐在員を招き、同校生徒向けのサウジアラビア講演会を開催。終了後には、参加者と橋本オリパラ担当大臣がオンラインで交流に関する意見交換を行った。
- 2020年7月、ジョージアのホストタウンである徳島県の徳島商業高校の生徒が、ジョージアの車いすフェンシングのイルマ選手、橋本大臣とオンラインで交流。生徒は徳島県の魅力やこれまでのホストタウンの取組について紹介し、ジョージア国歌も披露した。

～大槌高校生徒との意見交換～



～徳島商業高校×イルマ選手（ジョージア）との意見交換～



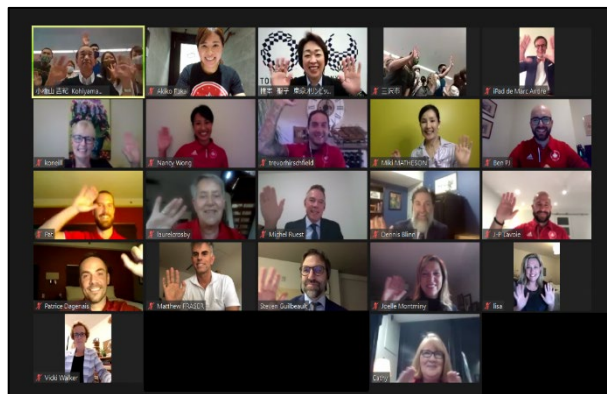
大会延期後の取組（オンライン交流②）

- 2020年8月、オーストリアのホストタウンである栃木県那須塩原市の東那須野中学校の生徒が、オーストリアのパラ水泳のオネア選手、橋本大臣とオンラインで交流。生徒は英語でオネア選手とコミュニケーションを行い、オネア選手・橋本大臣と意見交換を行った。
- 2020年8月、カナダのホストタウンである三沢市が、カナダ車いすラグビー連盟へのマスク贈呈式及びカナダ政府・カナダパラリンピック委員会・橋本大臣と意見交換を行った。
- 2020年9月、「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」の大臣賞及び事務局長賞を受賞した全9チームと橋本大臣が意見交換を行った。

～東那須野中学校×オネア選手
（オーストリア）との意見交換～



～三沢市からカナダ車いすラグビー連盟への
マスク贈呈式、カナダ政府等との意見交換～



～「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」で
受賞したチームとの意見交換～



大会延期後の取組（オンライン交流③）

- 2020年8月、ドイツのホストタウンである愛知県豊橋市がテコンドーオンラインキャンプを開催し、地元クラブの子供たち15名が、オリンピックでもあるドイツテコンドー代表ヘッドコーチ、ゲオーグ・ストライフ氏から、指導を受けた。
- 2020年9月、モルドバのホストタウンである山形県鶴岡市が「鶴岡ホストタウン日本・モルドバリモートアーチェリー親善大会 KAKEHASHI 2020」を開催、web会議ツールを活用し8,400km離れている両国を結び、中高生と社会人のアーチェリー選手が国際試合の雰囲気堪能した。

愛知県豊橋市のテコンドーオンラインキャンプの様子



山形県鶴岡市のアーチェリー親善大会の様子



大会時におけるホストタウン交流の取組

- コロナ禍での事前合宿の受け入れを行うホストタウン等に対し、2020年11月に内閣官房オリパラ事務局が「ホストタウン等における選手等受け入れマニュアル作成の手引き」を提示。
- 感染症対策を講じた上で受け入れを実施するために、「手引き」に関する説明会、専門家によるオンラインセミナーなどを開催。
- 各自治体で受け入れ体制を整え、250の自治体（累計）で約8,000名の選手団の事前合宿を受け入れ、35の自治体（累計）で約220名の選手団の大会後交流を受け入れ。
- コロナ禍の影響で事前合宿の受け入れがかなわなかったホストタウンにおいても、選手村に滞在する選手とオンラインで交流するなど、活発な取組を実施。

		自治体数	相手国・地域数	選手等の人数
オリンピック	事前合宿	183	79	6,349
	大会後交流	22	16	191
パラリンピック	事前合宿	67	39	1,627
	大会後交流	13	6	33

- ホストタウンは日本の自治体と東京大会に参加する国・地域の住民等が多様な分野で交流し地域活性化に活かし、大会後のレガシーとして未永い交流を実現させるもの。
- 大会時に選手等に安心してホストタウンを訪問してもらい、住民にも安心して選手等を迎えてもらうため、新型コロナウイルス感染防止策をまとめた「受入れマニュアル」を作成。（事前キャンプを受け入れる自治体、大学・企業等も同様）
- ホストタウン等及び相手国・地域の間で、マニュアル遵守について予め合意書を取り交わす。組織委に登録された選手等の国内行程や自治体のマニュアルの準備状況等を国、組織委、自治体、都道府県、IOC、IPC、NOC、NPC等で情報共有。

1. 基本的事項

- ・選手等の行程表（滞在場所、移動経路）
- ・感染防止の基本原則（三密回避、社会的距離、マスク、手洗い・消毒など）
- ・選手等の滞在先・用務先、移動手段についての制限・行動ルール
- ・パラアスリートについての、障害の度合い・種類に応じた必要な配慮
- ・メディアの取材に関するルール

【参考】都道府県及び国の役割

《都道府県》

- ・ホストタウン等に対する支援体制の整備
- ・マニュアル作成、選手等受入れ準備への助言
- ・選手等、自治体関係者への検査対応
- ・感染疑い者や濃厚接触者の特定、検査判定などの疫学調査
- ・陽性者への医療提供・体制の確保

《国》

- ・マニュアル作成等に係る助言、相談窓口設置等

2. 各場面における主な対策（特記がない場合は、事前合宿時の対応）

（1）移動

①域外

- ・原則として公共交通機関を利用せず、専用車両（貸切バス、新幹線の一両借り等）により移動。やむを得ない場合はチャーター機か、一定の区画をおさえて他の乗客と分離する等を条件に定期便を利用（不特定多数との接触回避、社会的距離を確保、濃厚接触者にならない対策）

②域内

- ・原則専用車両、徒歩移動はマスク着用・大声を避け、住民等との社会的距離確保

（2）宿泊

- ・選手等以外との接触を避けるための措置（貸切・動線分離、共用施設の利用抑制）
- ・部屋は基本的に個室、難しい場合は感染防止策を行った上で相部屋（固定化した最少人数で）
- ・食事は原則、宿泊施設内の専用会場又は自室で摂る

（3）食事

- ・一般客との接触を避け、個室を原則（必要に応じ、ケータリングや弁当等を利用）
- ・料理を選択する方式とする場合、調理スタッフによる個別又は小分け提供
- ・複数人での食事における黙食の徹底
- ・弁当利用に際しての配布者の手洗い・手指消毒、ごみは自ら捨てる
- ・可能な限り選手村の食事に近い提供を行うとともに、地域の食文化を楽しむ工夫も

（４）練習

- ・練習会場は貸切を原則、関係者以外の立入不可
- ・消毒の徹底、飛沫対策、換気・三密回避
- ・原則として、住民等を練習相手とすることを回避
- ・大会運営上の対策や競技別ガイドラインを参照しつつ、適切な競技別対策を実施

（５）ホストタウン交流

- ①東京大会出場のための来日より前
 - ・相手国・地域の歴史・文化等の学習
 - ・オンライン等で相手国・地域の選手・住民等の交流を深める
- ②来日～東京大会出場前（事前合宿時）
 - ・選手等との接触が生じない形態を原則（公開練習見学、オンラインの活用）
- ③東京大会出場後～帰国前
 - ・「新たな生活様式」を踏まえ、感染防止策を講じた上でニーズに応じた交流を実施（感染状況を鑑みて開催を柔軟に判断し、開催に当たって参加人数の管理、飲食を極力避ける等の策を講じる）
- ④帰国後
 - ・①～③の成果を活かし、さらに交流を継続・発展

3. 選手等の健康管理、行動管理（入国後14日間）

- ・選手等に、入国14日前からの行動管理・健康管理の徹底を呼びかけ
- ・選手等の滞在時に、健康状態、他者との接触状況及び位置情報の把握を実施
- ・選手等の行動を用務先（宿泊場所、練習会場等）間の移動のみに限定
- ・入国日が異なる者同士の接触を回避（接触した場合、14日間隔離の実効性が失われる）
- ・選手等に常時帯同又は同一空間で活動するホストタウン関係者への行動管理・健康管理の実施

4. 検査

- ・選手等や、選手等に一定の接触可能性のあるホストタウン等関係者に対して原則毎日検査を実施、その他選手等の用務先で活動する者に定期的に検査を実施
- ・選手等への検査結果の関係者との速やかな共有

5. 感染疑い者等発生時の対応

- ・都道府県や保健所と連携して、感染疑い者・陽性者発生時の対応フローを定め、周知
- ・感染疑い者等が出た場合、相談・連絡、診察・検査、入院・搬送等の必要な措置を取る
 - 感染者が出た場合には、選手等全員を一旦個室待機のうえ活動停止に（濃厚接触者でなく再度の検査で陰性であった者は、活動再開可能）
- ・空港検疫で選手等に陽性者が出た場合には、入国空港で選手等を機内濃厚接触候補者とそれ以外の者に区分（オリパラ事務局が実施）
 - その上で、機内濃厚接触候補者は専用のバスでホストタウン等又は一時滞在施設（バスで5時間以上のホストタウン等の場合）に、それ以外の者は予定していた交通手段でホストタウンに移動
 - この場合も、選手等全員を、濃厚接触者特定と再度の検査（ホストタウン等の区域を管轄する保健所が実施）が完了するまで個室で待機
- ・外国語対応（通訳の確保、翻訳アプリ・機器の活用等）の準備

6. 関係者との調整、連絡体制（特に医療・保健関係）

- ・都道府県や保健所、医療機関等との連携体制を構築し、選手団入国情報等を共有しつつ、必要な対策内容を検討し、実施
- ・検査方法、疑い事例の相談・受診先の確保、陽性者等発生時の対応を予め協議（必要に応じて他のホストタウン等での事例等の情報を参考にする）
- ・東京都「東京2020大会保健衛生支援東京拠点」や、「組織委員会感染症対策センター」との情報共有・連携

大会時の取組 ①事前合宿

■群馬県前橋市×南スーダン（陸上）

選手団を1年9か月受入れ。20名以上の通訳ボランティアが協力し、日常的に市民と交流したほか、学校へも積極的に訪問。大会で南スーダン記録を樹立した選手は「前橋市民のサポートのお陰でベストの走りができた」と感謝。

■群馬県太田市×オーストラリア（ソフトボール）

6月から47日間に及ぶ事前合宿を実施。合宿中には、園児らのスタンドからの応援、小学生から絹でできた記念品の贈呈等の交流を実施。選手達からは「太田市は第二の故郷のよう」「感謝の念に堪えない」とコメント。

■広島県広島市×メキシコ（サッカー）

子どもたちが折り鶴で作った首飾りや手紙をプレゼント。選手全員が首飾りを掛けて記念撮影を行った。選手からも、お礼の手紙やメッセージが届けられた。

■山形県村山市×ブルガリア（新体操）

合宿中にオンラインでの練習会場の生中継、地元小学生製作の応援動画、選手団からの応援メッセージ動画等の交流を実施。チームは金メダルを獲得し、帰国時に「優勝できました。ご声援いただいたみなさんありがとうございました。皆さんは我々の第2の家族です。」とお礼のコメントがあった。



南スーダン選手と合宿時の交流（前橋市）



幼稚園児がオーストラリア選手を応援（太田市）



ブルガリア選手団とのオンライン交流（村山市）

大会時の取組 ②大会期間中の交流

<開会式>

■岩手県八幡平市×ルワンダ

市特産のリンドウの現地実証栽培をきっかけにホストタウンに登録。陸上、競泳、自転車の事前合宿を受入れ、地元高校生とのオンライン交流等を実施。選手団は開会式でリンドウを持って入場し、友好の証を示した。

■山形県鶴岡市・西川町×モルドバ

アーチェリー、柔道、陸上（鶴岡市）、カヌー（西川町）の事前合宿を受入れ。

選手団は開会式で鶴岡市・西川町・モルドバNOCのマーク入り鶴岡産シルク製スカーフ・チーフを着用して入場。

■福島県猪苗代町×ガーナ

野口英世博士の繋がりから、ホストタウンに登録。ウェイトリフティング、競泳、ボクシング（オリ）、陸上、パワーリフティング（パラ）の事前合宿を受入れ。公開練習のほか、子供たちによる激励会を行い、応援メッセージカードと折鶴のレイをプレゼント。パラ開会式で、選手団はレイを首から下げて入場した。

<大会中>

■東京都文京区×パラリンピック難民選手団

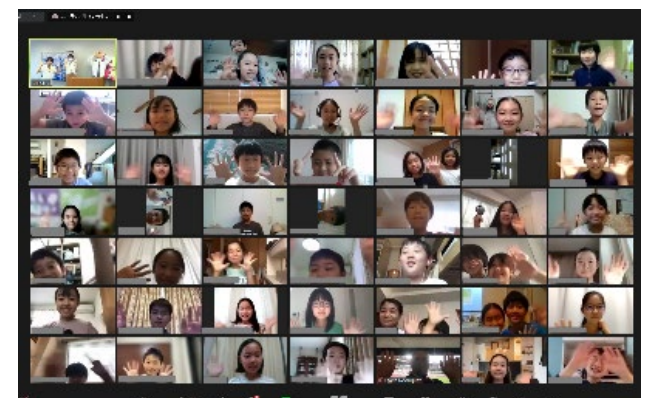
難民に対する理解促進・支援に取り組んできたことから、ホストタウンに登録。記者会見で子供記者11人が選手にオンライン取材を行ったほか、大会中に実施された小学生とのオンライン交流において、国立競技場から参加した選手団長から「皆さんからの応援は選手にも伝わっています。本当にありがとうございます。」とお礼の言葉があった。



八幡平市産リンドウを持つルワンダ選手団



ガーナ選手団は折鶴のレイを開会式で首から下げて入場。猪苗代町での合宿中には折鶴の作り方を教わる場面も



パラ難民選手団と文京区小学生の交流

大会時の取組 ③ 共同応援

■ 福島県楢葉町・広野町×アルゼンチン

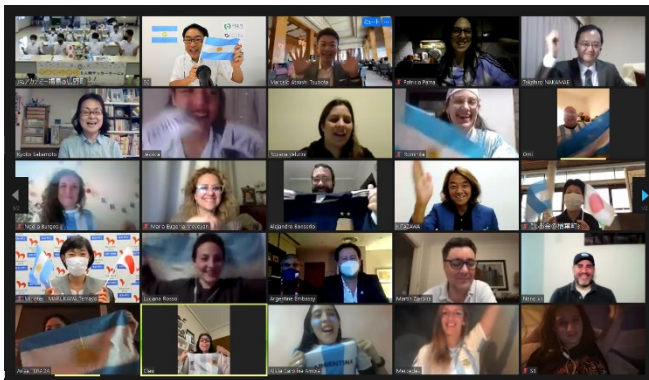
丸川オリパラ担当大臣や在京・在アルゼンチン両大使、アルゼンチンパラリンピック委員会会長、選手の家族らとともに、ブラインドサッカー予選リーグ（タイ戦）を応援。12時間の時差にも関わらず、アルゼンチン現地からも多数参加。楢葉町からは交流団体の皆さんが、広野町からはJFAアカデミー福島の皆さんが参加し、熱いエールを送った。

■ 岩手県遠野市、静岡県浜松市、兵庫県加古川市×ブラジル

遠野市の高校生を中心としたブラジルホストタウンの皆さんが、駐日ブラジル大使館書記官とともにブラインドサッカー決勝戦を応援。対戦相手のアルゼンチン側でも予選リーグに続いて共同応援が行われ、互いの応援方法の紹介や、エール合戦も行われた。

■ 兵庫県明石市、三重県熊野市、鹿児島県龍郷町、岩手県大槌町、岩手県野田村、福島県南相馬市、福島県北塩原村、愛媛県×台湾

台湾のホストタウンがオンライン上で集まり、チャイニーズ・タイペイパラリンピック委員会の職員とともにパラバドミントン選手の試合を応援。応援の様子は、同委員会や日本台湾交流協会のFacebookでも紹介され、多くの好反応を得た。試合後には、当該選手から御礼の動画をいただいた。



楢葉町・広野町とアルゼンチンの皆さんの共同応援



ブラジルホストタウンの共同応援
(画面左上は対戦相手アルゼンチンの共同応援)



台湾ホストタウンの共同応援

大会時の取組 ④大会後交流 ～ただいま・おかえりホストタウン～

■長野県松川町×コスタリカ

大会後にオリ・パラ選手がそれぞれ町を訪問し、中学生が企画運営した歓迎交流会やスポーツ大会などに参加。子供たちからは「オリンピック選手になるまでの努力や家族の支えなどの話を聞けるのは一生に一度しかない経験」、選手からは「地球上の全く違う場所で私たちを応援してくれる人がいることにとっても感激した」との声が上がった。コスタリカ初となる金メダル、銀メダルを獲得したパラリンピック選手がメダルを披露し、子どもたちは大喜びだった。

■静岡県富士宮市×スペイン

事前合宿を行った空手の金メダリストが競技終了後に改めて市を訪問。子供たちから手紙の贈呈、選手による競技の実演などの交流を実施。帰国時に選手から「富士宮の素晴らしい皆さんご支援ありがとうございました。素晴らしい経験ができました。」との言葉を頂いた。

■愛媛県・松山市・新居浜市・伊予市×モザンビーク

事前合宿を行ったパラ陸上選手団が競技終了後に改めて各市を訪問。記念植樹や小中学生との交流、地元の障害者スポーツクラブとの合同練習などを実施。選手からは「自分はモザンビークで教師をしており、ここで学んだことを自国の子どもたちに教えてあげたい」「2年前の合同練習で（スポーツクラブ代表に）トレーニングの仕方を教わってから足の痛みがなくなった。とても感謝しており、前からお礼を言いたかった」などの言葉を頂いた。



子どもたちからも「メダル」をもらった
コスタリカパラ選手団（松川町）



市民への報告会で、子どもたちから
手紙の朗読を受けるスペイン選手団（富士宮市）



地元の障害者スポーツクラブと交流する
モザンビーク選手団（松山市）

大会時の取組 ⑤大会後のオンライン交流

■ 愛知県美浜町×シンガポール

パラリンピックに出場した選手3名と市立野間中学校生徒が大会後にオンライン交流を行った。生徒からの挨拶やお礼、質問は全て英語で行い、選手と直接やり取りをすることで、お互いの距離が深まった。3名の選手からは「夢を見ることをあきらめないで」「自分を信じて、情熱を持ち続けてほしい」といった、生徒を勇気づけるメッセージが贈られた。

■ 秋田県にかほ市×リベリア

仁賀保高校やゆり支援学校の生徒など約440人がリベリア共和国パラリンピック選手団とのオンライン交流に参加、市民によるリベリア国歌斉唱や仁賀保高生による英語での市の魅力・観光スポットの解説を行った。ゆり支援学校の生徒が贈った手作りのあづま袋を紹介すると、選手団はおみやげが入ったあづま袋を広げて見せてくれるなど、とても喜んでいる様子だった。

■ 東京都西東京市×オランダ

金メダルを獲得したオランダの女子車いすバスケットボール選手2名と市立ひばりが丘中学校のバスケットボール部の生徒が交流を実施。生徒からは日々の練習内容や筋トレの方法など質問が飛び交い、選手2名は生徒からの質問に対して丁寧に答えていた。また、交流の最後に獲得した金メダルを選手が掲げると、生徒からは感嘆の声があがった。



美浜町とシンガポールのオンライン交流



リベリア国旗を振る仁賀保高校の生徒



西東京市とオランダのオンライン交流

東京大会時の取組 ⑥復興ありがとうホストタウン

■宮城県仙台市×イタリア

ソフトボール・パラ陸上・パラ水泳・車いすフェンシング・シッティングバレーの事前合宿を受け入れ、公開練習のほか、距離をとっての質疑応答や、中学生が考案したスイーツを食べながらのオンライン交流などを実施。沿道から子どもたちが声援を送れるよう、バスの走行ルートを工夫した。被災地の様子をVRで体験してもらう時間も設けた。

■福島県二本松市×クウェート

競泳・射撃・空手の事前合宿を受け入れ、公開練習や子供たちとのオンライン交流を実施。空手選手団から市に対して「本当に家にいるような気分にしてくれてありがとう」「決して皆さんを忘れませんし、きっとすぐ二本松に帰ってきます」など感謝のメッセージがつまった色紙が贈呈された。壮行会では復興状況を伝える映像を放映し感謝を伝えた。



イタリアソフトボールチームの公開練習（仙台市）



スイーツを考案した中学生と
イタリア選手団のオンライン交流（仙台市）



沿道から子どもたちが声援を送る（仙台市）



クウェート空手選手団の公開練習（二本松市）



地元空手スポーツ少年団と
クウェート空手選手団のオンライン交流（二本松市）



映像で復興状況を伝える（二本松市）

■ 福島県福島市×スイス

パラバドミントンの事前合宿を受入れ。東京大会を契機にバリアフリーニーズを掘り起こし、共生社会実現への体制づくりを推進。官民一体となったハード・ソフト両面のバリアフリーを実践し、市の取組に賛同し協力する団体・事業者は約270団体まで増加。障害当事者ととも中心市街地や温泉地でまち歩き点検を実施するなど、障害当事者の参画による取組を推進。

■ 静岡県浜松市×ブラジル

ブラジルパラリンピック14競技・選手団388名の事前合宿を21日間にわたり市内13会場、袋井市1会場で受入れ。パラカヌー選手団と市内チアリーディング団体とのオンライン交流では、子供たちが応援のダンスを披露するなどした。選手らは、「素晴らしいサポートを受けて感謝している、浜松市の代表として大会に出場するつもりだ」と感想を述べた。

■ オンラインを活用したボッチャ交流会（秋田県大館市、秋田県仙北市、東京都西東京市、東京都武蔵野市）

高齢者や子供、障害の有無に関わらず誰でも楽しめるボッチャを中心に、パラスポーツの普及に取り組む共生社会ホストタウンの市民等が参加し、離れた場所にいる各チームがオンラインでボッチャの対戦を楽しむイベントを開催。参加者からは、「オンラインでのボッチャは初めてだが、充分楽しめた。新しい発見だった」と感想があった。



障害当事者参画のまち歩き点検（福島市）



ブラジルパラ陸上練習風景（浜松市）



ブラジルパラカヌーチームとのオンライン交流（浜松市）



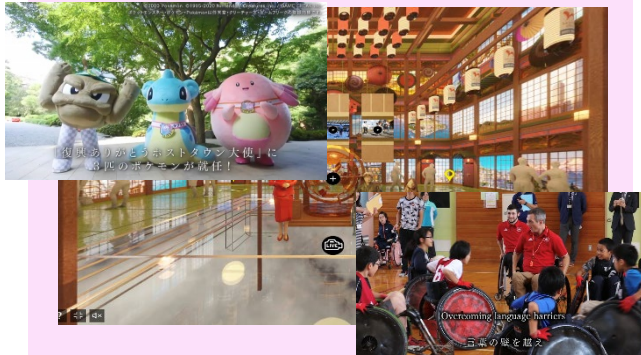
オンラインを活用したボッチャ交流会

大会時の取組 ⑧ホストタウンハウス

- 国内外の人々が、ホストタウンの取組を「見て・知って・体験できる」場として、オンラインバーチャル会場を利用したホストタウンハウスを開催。「オープニングムービー」と5つのエリア（「ウェルカム」「応援の輪」「ホストタウン連携プロジェクト」「テーマ別取組」「シアター」）を設置し、ホストタウン交流のモデルケースを示した。
- 東京大会に参加する選手への応援メッセージや、選手からホストタウンへの感謝の気持ちをSNS投稿を通じて伝える「みんなでつながろう！ 応援の輪 #HostTownMessage」を実施。国内外から約4700件のメッセージが投稿。

ホストタウンハウス（2021年7月23日～9月5日開催）

ウェルカムエリア



応援の輪エリア



「#HostTownMessage」の例
静岡県牧之原市×アメリカ（サーフィン）

アメリカ チームから

事前キャンプを牧之原で、できることを楽しみにしています。牧之原の温かいサポートに感謝しています。

牧之原市民から

USAサーフィンの皆さん、感動をありがとうございました。金メダル獲得おめでとうございます。USAサーフィンのホストタウンとして大変光栄に思います。是非また牧之原市にきてくださいね！

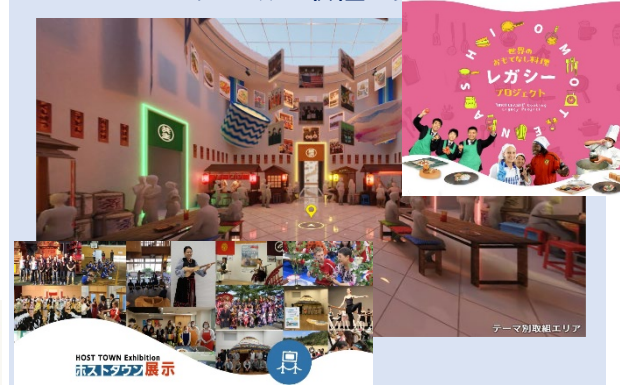


選手団到着時には、市民団体が市花アジサイで作った花飾りを選手へプレゼント。最終日には市民や職員による出発式を行い、選手団へエールを贈った。

ホストタウン連携プロジェクトエリア



テーマ別取組エリア



東京大会時の取組 ⑨相手国を同じくするホストタウンの連携

相手国・地域を同じくするホストタウンが連携して、様々な取組を実施。

【取組例】

■ドイツ

岩手県雫石町、山形県鶴岡市、群馬県沼田市、岡山県真庭市、長崎県島原市の高校生が、日独の関係者にオンラインで取材し、「共生社会の実現」「地域活性化」について地域の課題を解決するための提言をまとめ、それぞれの自治体関係者に向けてオンライン発表を行った。

■米国

直接の交流が難しい中でホストタウンの魅力を身近に感じてもらおうと、12のホストタウンが地元の特産品を詰め合わせた「おもてなしギフトボックス」を制作。紹介動画をYouTubeで発信すると共に、オンライン交流会にて米国選手への贈呈式を実施。

■フランス

千葉県浦安市、いすみ市、兵庫県神戸市、姫路市の高校生が、東京大会期間中に地元を訪問したフランス人選手や事前合宿を支える市民の想いをインタビューし、新聞記事としてとりまとめた。またフランスの高校生や堀内大臣とオンライン交流を行い、ホストタウンの経験を伝えるとともに、2024パリ大会に向けたアイデアを出し合った。



【ドイツ】オンライン発表会



【米国】おもてなしギフトボックス



【フランス】日仏高校生交流

ホストタウンにおける食文化発信①

- ホストタウン自治体と東京大会に参加する国・地域の住民等が、食を通じて交流
- 大会の調達基準となっているGAP認証等を取得した食材を活用したおもてなしメニューを考案し、事前合宿等に訪れた選手等に食事を提供
- ホストタウンにおける食のおもてなしを通じて、日本の食材・おもてなしの心のすばらしさを発信

【交流事例】

北海道士別市



合宿所での食事風景



士別市の安全・安心な食材を使ったメニュー一例

台湾のウエイトリフティングチームを合宿に招へいし、公認スポーツ栄養士の指導に基づく士別産のグローバルG.A.P.食材をはじめとした安全安心な食材を活用したメニューの提供や、市内の農業生産者や中高生との交流イベントなどを開催。

岩手県雫石町



料理教室での実習風景



岩手県食材を活用したフラムクーヘン

ドイツを相手国とした「復興ありがとうホストタウン」で、ドイツ人シェフとGAP認証を取得した小麦粉やベーコンなどの岩手県産食材を活用したフラムクーヘン（ドイツ風ピザ）等を学ぶ料理教室を実施。

鹿児島県鹿屋市



かぼちゃのムースを食べる選手と生徒



KGAP認証のかぼちゃのムース

タイの女子バレーボールナショナルチームを合宿に招へいし、KGAP認証を受けたかぼちゃを使ったアイスクリームや地元のかぼちゃとお茶を使ったメニュー（「かぼちゃのムース抹茶添え」「かぼちゃ入り鶏肉のトマト煮」）を考案し、歓迎レセプションで提供。

ホストタウンにおける食文化発信②

「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」(2019年度)

- ホストタウン自治体と農業高校等がチームとなり、生徒が生産したGAP食材等を活用して、大会時に来日する選手のおもてなしメニューを開発。
- コンテスト形式で、各チームのおもてなしを評価。



おもてなし料理開発の様子



おもてなし料理提供の様子

「世界のおもてなし料理プロジェクト」(2020年度)

- ホストタウン自治体と農業高校や飲食店等が連携し、相手国・地域の食文化等をより深く探求するための研修を通して、おもてなしメニューをブラッシュアップ。
- 地元のGAP食材等を活用し、相手国の食文化を生かした料理と地元の郷土料理を生かしたおもてなし料理を開発。
- ホストタウンサミット(2021年2月開催)で、実際に調理して、その様子をオンラインライブで披露。



オンラインライブで調理を披露



丸川オリパラ担当大臣が試食

「世界のおもてなし料理レガシープロジェクト」(2021年度)

- 研修を通じて相手国や日本の食文化等を学ぶとともに、これまで開発したおもてなし料理をブラッシュアップ。
- 地元のGAP食材を活用し、相手国や地域の料理を開発し、実際に事前合宿に訪れた選手等に料理を提供。
- 相手国の大陸ごとにホストタウンが一つになり、開発した料理を互いに試食するなどのオンライン交流を実施。



おもてなし料理を事前合宿で提供



オンライン交流の様子

⇒これまで積み上げてきた取組を、大会後も継続するレガシーに

日本郵便との連携

- ホストタウンフレーム切手は各ホストタウンの創意工夫により、ホストタウン相手国・地域と自治体の交流の思い出や風景などを自由にデザインできる。161ホストタウンで販売された。
- 「ホストタウン相手国・地域へお手紙を送ろう」プロジェクトを実施。ホストタウン内の小・中・高校生が相手国・地域の人々にメッセージを送る「お手紙キット」は、124自治体の511校から申し込みがあった。

ホストタウンフレーム切手



「富士見市×セルビア」



「福井市×スロベニア」



「三芳町×オランダ」



「南相馬市×ジブチ
×アメリカ×台湾」



「山形市×タイ
×サモア×台湾」



「村山市×ブルガリア」



「飯舘村×ラオス」

お手紙プロジェクト



学校だけでなく、地域のイベントにも出展し、相手国の子供や選手に宛てて手紙を作成します。

葉山小学校から英国・セーリングチームへのお手紙



日本財団パラサポセンター、経済界協議会との連携

日本財団パラリンピックサポートセンターと連携した取組

- パラスポーツ体験型の出前授業「あすチャレ！ School」は全国47都道府県で延べ1000回以上開催されたほか、「あすチャレ！ アカデミー」や「あすチャレ！ ジュニアアカデミー」、「あすチャレ！ メッセンジャー」など、パラアスリートを中心とした障害当事者講師から障害や共生社会等について楽しく学べる 教育・研修プログラムも数多く実施され、ホストタウンにおいても活用。
- 国際パラリンピック委員会公認教材「I'mPOSSIBLE」日本版を全国の小・中・高・特別支援学校など累計約36,000校に無償配布（期間：2017年～2020年6月末）



「I'mPOSSIBLE」教材を活用した授業
(明石市)

・明石市（先導的共生社会ホストタウン）

「I'mPOSSIBLE」教材を活用した授業を市立小・中・高・特別支援学校 全43校で実施

オリンピック・パラリンピック等経済界協議会と連携した取組

- 2020大会をはじめ、ラグビーW杯2019等の成功と、そのムーブメントを活用したレガシー作りを通じて、豊かで活力ある日本社会の実現に寄与することを趣旨として経団連、商工会議所、経済同友会を中心に設立。ホストタウンが行う異文化交流やバリアフリーマップ作成などを、協議会参画企業からの人材派遣等を通じて連携。

・登別市（相手国：デンマーク）

市民を対象に、身近にデンマークに対する理解を深める機会として異文化教室を開催。

デンマークに居住経験のある講師を派遣し、同国の文化などを紹介。

・田川市（相手国：ドイツ、ベラルーシ）

学校周辺の公共施設や商業施設などを訪れ、バリアフリーの状況を小学生が調査しバリアフリーマップを作成。誰もが不自由なく生活を送ることができる社会の実現をめざしている。



全国のホストタウン（1）

都道府県	登録団体名	相手国・地域	都道府県	登録団体名	相手国・地域	都道府県	登録団体名	相手国・地域
北海道	札幌市	ウクライナ、カナダ	岩手県	盛岡市	マリ	山形県	山形市	サモア、台湾、タイ
	函館市	カナダ		盛岡市・紫波町	カナダ		米沢市	香港
	釧路市	ベトナム		宮古市	ナミビア		鶴岡市	ドイツ
	帯広市・音更町	アルゼンチン		遠野市	ブラジル		鶴岡市・西川町	モルドバ
	北見市	エクアドル		八幡平市	ルワンダ		酒田市	ニュージーランド
	網走市	オーストラリア、韓国		岩手町	アイルランド		新庄市	台湾
	士別市	台湾		西和賀町	コートジボワール		寒河江市・山形県	韓国
	名寄市	台湾		一戸町	パラグアイ		上山市	ポーランド
	根室市	ロシア		宮城県	仙台市		イタリア	村山市
	滝川市	アルゼンチン	仙台市・多賀城市	キューバ	長井市		タンザニア、リヒテンシュタイン	
	登別市	デンマーク	白石市・柴田町	ベラルーシ	天童市・山形県		トルクメニスタン	
	恵庭市	グアテマラ	登米市	ポーランド	東根市		ドイツ	
	江差町	米国	蔵王町	パラオ	南陽市		バルバドス	
	黒松内町	スリナム	丸森町	ザンビア	白鷹町		中国	
	東川町	ラトビア	秋田県・大館市・仙北市・美郷町	タイ	福島市		スイス、ベトナム	
	遠軽町	アイルランド	秋田市・秋田県	フィジー	会津若松市	タイ		
	壮瞥町	フィンランド	能代市	ヨルダン	郡山市	オランダ、ハンガリー		
	むかわ町・安平町・厚真町	リトアニア	横手市・秋田県	インドネシア	いわき市	サモア		
	日高町	ウズベキスタン	鹿角市	ハンガリー	二本松市	デンマーク		
青森県	青森市	タジキスタン	にかほ市	リベリア	田村市	ネパール		
	弘前市	台湾、ブラジル	大湍村・秋田県	デンマーク	大玉村	ペルー		
	三沢市	カナダ			南会津町	アルメニア		
	今別町	モンゴル			猪苗代町	ガーナ		
	西目屋村	イタリア						

全国のホストタウン（2）

都道府県	登録団体名	相手国・地域
茨城県	茨城県	ベルギー
	茨城県・ 鉾田市	ベトナム
	日立市	ロシア
	結城市	カザフスタン
	古河市	米国
	龍ヶ崎市	キューバ、タイ、 グアム、フィジー、 バヌアツ、米国
	下妻市	ブルンジ
	笠間市	タイ、エチオピア、 台湾、米国、フラ ンス
	つくば市	スイス
	潮来市	台湾、スウェーデ ン、ベルギー、フィン ランド、ナミビア、ノ ルウェー
	守谷市	ニジェール
	常陸大宮市	パラオ
	坂東市	リトアニア
	稲敷市	オーストラリア
	桜川市	ブルガリア、 モンゴル
	行方市	モンゴル
	神栖市	チュニジア
	城里町	モンゴル
境町	アルゼンチン	

都道府県	登録団体名	相手国・地域
栃木県	栃木県・足利 市・栃木市・ 小山市・矢板 市・さくら市	ハンガリー
	小山市	ナイジェリア
	那須塩原市	オーストリア
	下野市	キプロス
	高根沢町	レソト
	群馬県	前橋市
高崎市		ポーランド、 ウズベキスタン
太田市		オーストラリア、 マラウイ
沼田市		ドイツ
渋川市		ニュージーランド、 モーリタニア
富岡市		フランス、 ミクロネシア
みどり市		香港
上野村		ブータン
甘楽町		ニカラグア
片品村		ホンジュラス
川場村		米国
邑楽町		トンガ

都道府県	登録団体名	相手国・地域
埼玉県	埼玉県・ 所沢市	イタリア
	埼玉県・ 加須市	コロンビア
	埼玉県・ 上尾市・ 伊奈町	オーストラリア
	埼玉県・ 新座市	ブラジル
	さいたま市	オランダ
	川越市	タイ
	秩父市	コロンビア
	本庄市	トルコ
	東松山市	キューバ
	草加市	コロンビア
	戸田市	オーストラリア
	北本市	アルジェリア
	富士見市	セルビア
	三郷市	ギリシャ
	幸手市	ベナン
	鶴ヶ島市	ミャンマー
	吉川市	マカオ
	三芳町	オランダ、 マレーシア
横瀬町	アンドラ	
寄居町	ブータン	

全国のホストタウン（3）

都道府県	登録団体名	相手国・地域
千葉県	千葉県	オランダ
	銚子市	台湾
	市川市	ブルガリア
	船橋市	米国
	館山市	オランダ
	木更津市	ナイジェリア
	松戸市	ドミニカ共和国、ルーマニア
	成田市	アイルランド
	佐倉市・成田市・印西市	米国
	佐倉市	ボツワナ、ペルー
	旭市	ドイツ、ザンビア
	柏市	英国
	市原市・君津市	ニュージーランド
	流山市	オランダ
	我孫子市	スロベニア
	浦安市	英国、スロバキア、フランス、オランダ
	白井市	ブルキナファソ
	山武市	スリランカ
	いすみ市	フランス
	横芝光町	ベリーズ
長柄町	ロシア	

都道府県	登録団体名	相手国・地域
東京都	港区	ジンバブエ
	文京区	ドイツ、パラリンピック難民選手団
	墨田区	ボリビア
	品川区	コロンビア
	目黒区	ケニア
	大田区	ブラジル
	世田谷区	米国
	杉並区	イタリア、ウズベキスタン
	豊島区	バングラデシュ、セントルシア
	北区	ハンガリー
	荒川区	アルバ
	板橋区	イタリア
	練馬区	エクアドル、デンマーク
	足立区	オランダ
	江戸川区	オランダ
	八王子市	米国、台湾
	立川市	ベラルーシ
	武蔵野市	ルーマニア
	三鷹市	チリ
	青梅市	ドイツ
府中市	オーストリア、オーストラリア	

都道府県	登録団体名	相手国・地域
東京都	調布市	サウジアラビア
	町田市	南アフリカ、インドネシア
	日野市	ウクライナ
	東村山市	中国
	多摩市	アイスランド
	国分寺市	ベトナム
	武蔵村山市	モンゴル
	羽村市	キルギス
	西東京市	オランダ
	神奈川県	神奈川県・藤沢市
神奈川県・小田原市・大磯町・箱根町		エリトリア、ブータン、ミャンマー
横浜市		英国、チュニジア、イスラエル、ベナン、ボツワナ、コートジボワール、モロッコ、ブルガリア、アルジェリア
川崎市		英国
相模原市		ブラジル、カナダ

全国のホストタウン（４）

都道府県	登録団体名	相手国・地域
神奈川県	横須賀市	イスラエル
	平塚市・神奈川県	リトアニア
	鎌倉市	フランス
	小田原市	モルディブ、オーストラリア
	茅ヶ崎市	北マケドニア
	逗子市	スペイン
	厚木市	ニュージーランド
	葉山町	英国
新潟県	新潟県・新潟市・長岡市・燕市・五泉市・弥彦村	モンゴル
	新潟市	フランス、ロシア
	長岡市・新潟県	オーストラリア
	三条市	コソボ共和国
	柏崎市	モンテネグロ、セルビア
	小千谷市	米領バージン諸島
	加茂市	ロシア
	十日町市	クロアチア
	妙高市	スロベニア
	上越市	ドイツ
	魚沼市	ケイマン諸島

都道府県	登録団体名	相手国・地域	
富山県	高岡市	ポーランド	
	黒部市	インド	
石川県	石川県・小松市	ニュージーランド、ブラジル、英国、フランス、カナダ、モザンビーク、ノルウェー、スロベニア	
	石川県・志賀町	アゼルバイジャン、ジョージア	
	石川県・穴水町	ロシア	
	金沢市	フランス、ロシア	
	加賀市	ポルトガル、台湾	
	志賀町	アルバニア	
	福井県	福井市	スロベニア
		敦賀市	ポーランド
		大野市	東ティモール
		鯖江市	中国
越前町		カナダ	
山梨県	甲府市	フランス	
	富士吉田市	米国	
	富士吉田市・山梨県	フランス	
	山梨市	ドイツ、キルギス	
	大月市	ネパール	
	韮崎市	チェコ	
	北杜市	フランス	
	笛吹市	タイ	

都道府県	登録団体名	相手国・地域
山梨県	甲州市	フランス
	都留市	フランス
	西桂町	フランス
	忍野村	フランス
	山中湖村	フランス
	富士河口湖町・鳴沢村	フランス
	小菅村	パレスチナ
長野県	長野県・長野市・上田市・須坂市・飯山市・下諏訪町・山ノ内町	中国
	長野市	デンマーク
	岡谷市	カナダ
	伊那市	東ティモール
	駒ヶ根市	ベネズエラ、ネパール
	佐久市	エストニア
	千曲市	ハンガリー
	東御市	モルドバ
	安曇野市	オーストリア
	立科町	ウガンダ
	松川町	コスタリカ

全国のホストタウン（5）

都道府県	登録団体名	相手国・地域	
岐阜県	岐阜県・ 高山市・ 下呂市	英国、 フランス、 米国	
	岐阜市	スロバキア	
	岐阜市・ 岐阜県	カナダ	
	岐阜市・ 関市	コートジボワール	
	中津川市	米国	
	羽島市	スリランカ	
	恵那市	ポーランド	
	各務原市・ 岐阜県	オランダ	
	郡上市	コロンビア、 マダガスカル	
	八百津町	イスラエル	
	静岡県	静岡市	スペイン、台湾、 モーリシャス、フラン ス
		浜松市	ブラジル
沼津市		カナダ	
熱海市		ブルネイ・ダルサ ラーム	
三島市		米国	
富士宮市		スペイン	
島田市		モンゴル、 シンガポール	

都道府県	登録団体名	相手国・地域	
静岡県	富士市	スイス、ラトビア	
	焼津市	モンゴル	
	掛川市	台湾、モーリシャス	
	藤枝市	イタリア	
	御殿場市	台湾、韓国、 イタリア	
	袋井市	アイルランド	
	下田市	米国	
	菊川市	バーレーン	
	伊豆の国市	モンゴル	
	牧之原市	中国、米国	
	小山町	台湾	
	愛知県	名古屋市	フランス、 カナダ、 ウズベキスタン
		豊橋市	ドイツ、 リトアニア
岡崎市		中国、 モンゴル	
一宮市		米国	
半田市		中国	
刈谷市		カナダ	
豊田市		英国	
安城市		カナダ	
稲沢市	ギリシャ		
美浜町	シンガポール		
幸田町	ハイチ		

都道府県	登録団体名	相手国・地域
三重県	三重県・ 津市	カナダ
	三重県・ 鈴鹿市	カナダ、 英国
	四日市市	カナダ
	伊勢市	ラオス
	熊野市	台湾
	志摩市	スペイン
	滋賀県	滋賀県・ 大津市
滋賀県・ 彦根市		スペイン
滋賀県・ 甲賀市		シンガポール
守山市・ 滋賀県		トルコ
米原市・ 滋賀県		ニュージーランド
舞鶴市		ウズベキスタン
京都府	亀岡市	オーストリア
	京丹後市	韓国、 オーストラリア、 スペイン、 ポルトガル
	大山崎町	スイス
	京丹波町	ニュージーランド

全国のホストタウン（6）

都道府県	登録団体名	相手国・地域
大阪府	大阪市	オーストラリア
	堺市	アルゼンチン
	池田市	ロシア、フランス
	高槻市	オーストラリア
	貝塚市	台湾
	守口市	ガンビア
	茨木市	オーストラリア、イタリア
	泉佐野市	ウガンダ、モンゴル
	大東市	コロンビア
	和泉市	セネガル
	箕面市	ニュージーランド
兵庫県	兵庫県・姫路市	フランス
	兵庫県・尼崎市	ベラルーシ、ギリシャ、ウクライナ
	兵庫県・三木市	フランス
	神戸市	英国、オーストラリア、クオアチア、カナダ、ネパール、ニュージーランド、フランス
	明石市	韓国、台湾

都道府県	登録団体名	相手国・地域
兵庫県	豊岡市	フランス、ドイツ、スイス
	加古川市	ブラジル、ツバル
	西脇市	オーストラリア
	三木市	ネパール
	丹波篠山市	バハマ、プエルトリコ、台湾
	香美町	フランス
	奈良市・奈良県	オーストラリア
奈良県	大和郡山市・奈良県	シンガポール、香港
	天理市・奈良県	フランス、エジプト
	橿原市・奈良県	カザフスタン、ウクライナ
	川西町	プエルトリコ
	田原本町	グアテマラ
和歌山県	和歌山県・和歌山市	オーストラリア、カナダ
	和歌山県・那智勝浦町・串本町	トルコ
鳥取県	鳥取県・鳥取市	ジャマイカ

都道府県	登録団体名	相手国・地域
島根県	松江市	アイルランド
	益田市	アイルランド
	奥出雲町	インド
	邑南町	フィンランド
岡山県	海士町・隠岐の島町・西ノ島町・知夫村	ミクロネシア
	岡山市	ブルガリア、台湾
	倉敷市	ニュージーランド
	津山市	モナコ
	総社市	ギニア・ビサウ
	赤磐市	ニュージーランド、カナダ
	真庭市	ドイツ
	美作市	ベトナム、米国
	矢掛町	イタリア
	広島県	広島県ほか県内23市町（※）
※広島市・呉市・竹原市・三原市・尾道市・福山市・府中市・三次市・庄原市・大竹市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市・府中町・海田町・熊野町・坂町・安芸太田町・北広島町・大崎上島町・世羅町・神石高原町		

全国のホストタウン（7）

都道府県	登録団体名	相手国・地域
広島県	広島市	オーストラリア、 キューバ、ベルギー
	福山市・ 尾道市・ 府中市・ 神石高原町	パラグアイ
	江田島市	ギリシャ
	北広島町	ドミニカ共和国
	山口県・ 山口市・ 宇部市	スペイン
山口県	宇部市	マダガスカル
	下関市	トルコ
	萩市	英国
	防府市	セルビア
	下松市	ベトナム
	岩国市	米国
	長門市	ブラジル
	徳島県・ 徳島市	カンボジア、 ネパール
	徳島県・ 鳴門市	ジョージア
徳島県	徳島県・ 鳴門市・ 那賀町	ドイツ

都道府県	登録団体名	相手国・地域
香川県	香川県・ 丸亀市・ 坂出市	ブラジル、 デンマーク、 エストニア、 フィンランド、 ルウェー、 カナダ、ハンガリー、 クロアチア
	高松市	台湾
	東かがわ市	香港
	三豊市・ 琴平町	ベルギー
	土庄町	マルタ
	愛媛県	愛媛県・ 松山市
愛媛県・ 松山市・ 新居浜市・ 伊予市		モザンビーク
愛媛県・ 松山市・ 砥部町		マレーシア
新居浜市・ 愛媛県		サウジアラビア
西条市・ 愛媛県		オーストリア

都道府県	登録団体名	相手国・地域
愛媛県	今治市・ 愛媛県	パナマ
	松野町・ 愛媛県	英領バージン諸島
	伊方町・ 愛媛県	バミューダ
高知県	高知県	キルギス
	高知県・ 高知市	トンガ
	高知県・ 高知市・ 南国市	シンガポール
	高知県・ 高知市	チエコ
	高知県・ 須崎市	オーストラリア
	高知県・ 宿毛市	オランダ
	土佐町・本山 町・須崎市・ 高知県	ハンガリー
	中土佐町・ 高知県	トリニダード・トバゴ

全国のホストタウン（8）

都道府県	登録団体名	相手国・地域	都道府県	登録団体名	相手国・地域	都道府県	登録団体名	相手国・地域		
福岡県	福岡県・福岡市	スウェーデン、 ルウエー	佐賀県	佐賀県	タイ、フィンランド	熊本県	熊本県	インドネシア		
	福岡県・久留米市	ケニア、 カザフスタン		佐賀県・佐賀市・嬉野市	オランダ、フィジー、 ニュージーランド		熊本市	ドイツ		
	福岡県・柳川市・みやま市・みやこ町・築上町	米領サモア、パラオ、クック諸島、パプアニューギニア、ミクロネシア、サモア、フィジー、ソロモン諸島、グアム、トンガ、キリバス、ツバル、マーシャル諸島、バヌアツ、ナウル		佐賀市	フィンランド		八代市	台湾		
				唐津市	セルビア		玉名市	アンゴラ		
			長崎県・長崎市	ラオス	大分県	ニューージーランド				
					長崎県・長崎市・佐世保市・島原市・諫早市・大村市・壱岐市・雲仙市・南島原市・川棚町	ベトナム	大分県・大分市	ポルトガル、ロシア、イタリア、米国、ハンガリー、ルーマニア、ウクライナ		
							長崎県・長崎市・大村市	ポルトガル	大分県・大分市・別府市	フィジー
									長崎県・佐世保市・島原市	スペイン
			長崎県・島原市	ドイツ	大分市	スイス、ウルグアイ				
			長崎県・諫早市	フィリピン	別府市	ニュージーランド、ラオス、チェコ				
	北九州市	タイ、コロンビア、 英国、ドイツ	長崎県	長崎県・長崎市	ポルトガル	佐伯市	ベトナム			
	大牟田市	ジョージア、 アフガニスタン	長崎県	長崎県・佐世保市・島原市	スペイン	宇佐市	モンゴル			
飯塚市	南アフリカ	長崎県・島原市		ドイツ	宮崎県	宮崎県・宮崎市・延岡市・小林市	ドイツ			
田川市	ドイツ、 ベラルーシ	長崎県・島原市		ドイツ		宮崎県・宮崎市	英国、カナダ			
大川市	ペルー	長崎県・島原市		ドイツ						
宗像市	ブルガリア、ロシア	長崎県・諫早市		フィリピン						
福津市・古賀市	ルーマニア									

全国のホストタウン（9）

都道府県	登録団体名	相手国・地域
宮崎県	宮崎県・宮崎市・日南市・西都市	イタリア
	都城市	モンゴル
	延岡市	ミャンマー
	日向市	米国、トーゴ
	綾町	セーシェル
	鹿児島市	南アフリカ
鹿児島県	鹿屋市	スロベニア、タイ
	西之表市	ポルトガル
	薩摩川内市	中国、アルゼンチン
	大崎町	台湾、トリニダード・トバゴ
	龍郷町	台湾
	三島村	ギニア
	徳之島町	セントビンセント及びグレナディーン諸島
	天城町	セントクリストファー・ネイビス
	伊仙町	ボスニアヘルツェゴビナ
	和泊町	ドミニカ国
	知名町	グレナダ
	与論町	アンティグア・バーブーダ

都道府県	登録団体名	相手国・地域
沖縄県	石垣市	サンマリノ、ルクセンブルク
	沖縄市	ニュージーランド
	豊見城市	ハンガリー
	宮古島市	オーストラリア
	北中城村	サントメ・プリンシペ
	中城村	カーボベルデ
	八重瀬町	ソロモン諸島
	竹富町	サンマリノ

復興ありがとうホストタウン

復興ありがとうホストタウン33件（自治体数：33）

都道府県	登録団体名	相手国・地域
岩手県	宮古市	シンガポール
	大船渡市	米国
	花巻市	米国、 オーストリア
	北上市	セルビア
	久慈市	リトアニア
	遠野市	ブラジル
	陸前高田市	シンガポール
	釜石市	オーストラリア
	二戸市	ガボン
	雫石町	ドイツ
	矢巾町	オーストリア
	大槌町	台湾、 サウジアラビア
	山田町	オランダ
	野田村	台湾

都道府県	登録団体名	相手国・地域
宮城県	仙台市	イタリア
	石巻市	チュニジア
	気仙沼市	インドネシア
	名取市	カナダ
	岩沼市	南アフリカ
	東松島市	デンマーク
	亘理町	イスラエル
	加美町	チリ

都道府県	登録団体名	相手国・地域
福島県	白河市	カタル
	喜多方市	米国
	二本松市	クウェート
	南相馬市	ジブチ、 台湾、 米国、 韓国
	伊達市	ガイアナ
	本宮市	英国
	北塩原村	台湾
	広野町	インドネシア
	楡葉町	ギリシャ
	楡葉町・ 広野町・ 川俣町	アルゼンチン
	飯舘村	ラオス

共生社会ホストタウン（1）

共生社会ホストタウン105件（自治体数：109）

※赤字は先導的共生社会ホストタウン：15件

都道府県	登録団体名	相手国・地域
北海道	札幌市	ウクライナ、カナダ
	釧路市	ベトナム
	滝川市	アルゼンチン
	登別市	デンマーク
	江差町	米国
青森県	弘前市	ブラジル
	三沢市	カナダ
岩手県	遠野市	ブラジル
	陸前高田市	シンガポール
	一戸町	パラグアイ
宮城県	仙台市	イタリア
	登米市	ポーランド
	加美町	チリ
秋田県	能代市	ヨルダン
	大館市	タイ
	仙北市	タイ
山形県	鶴岡市	ドイツ、モルドバ
	酒田市	ニュージーランド
	村山市	ブルガリア
	東根市	ドイツ
福島県	福島市	スイス
	猪苗代町	ガーナ
茨城県	潮来市	スウェーデン
栃木県	那須塩原市	オーストリア
群馬県	渋川市	ニュージーランド
	富岡市	フランス
	みどり市	香港
	邑楽町	トンガ

都道府県	登録団体名	相手国・地域
埼玉県	本庄市	トルコ
	北本市	アルジェリア
	富士見市	セルビア
	三芳町	マレーシア
千葉県	成田市	アイルランド
	柏市	英国
	浦安市	英国
東京都	世田谷区	米国
	練馬区	エクアドル
	足立区	オランダ
	江戸川区	オランダ
	武蔵野市	ルーマニア
	三鷹市	チリ
	町田市	インドネシア
	国分寺市	ベトナム
	西東京市	オランダ
	横浜市	英国
神奈川県	川崎市	英国
	平塚市・神奈川県	リトアニア
	藤沢市・神奈川県	ポルトガル
	小田原市・神奈川県	エリトリア、ブータン、ミャンマー
	厚木市	ニュージーランド
	大磯町・神奈川県	エリトリア、ブータン、ミャンマー
	箱根町・神奈川県	エリトリア、ブータン、ミャンマー
新潟県	長岡市	オーストラリア

都道府県	登録団体名	相手国・地域
石川県	金沢市	フランス
	小松市	ブラジル、英国、フランス、カナダ
	志賀町	アゼルバイジャン
福井県	福井市	スロベニア
山梨県	山梨市	キルギス
	富士河口湖町	フランス
岐阜県	岐阜市・岐阜県	カナダ
	岐阜市	スロバキア
静岡県	静岡市	スペイン、モリシャス
	浜松市	ブラジル
	焼津市	モンゴル
	伊豆の国市	モンゴル
愛知県	名古屋市	カナダ、ウズベキスタン
	豊橋市	リトアニア
三重県	伊勢市	ラオス
	鈴鹿市	英国
	志摩市	スペイン
滋賀県	守山市	トルコ
	甲賀市	シンガポール
大阪府	池田市	フランス
	守口市	ガンビア
	大東市	コロンビア
兵庫県	神戸市	オーストラリア、ネパール
	明石市	台湾、韓国
	加古川市	ブラジル
	三木市	ネパール、フランス
奈良県	大和郡山市	シンガポール
	田原本町	グアテマラ

共生社会ホストタウン（2）

共生社会ホストタウン105件（自治体数：109）

※赤字は先導的共生社会ホストタウン：15件

都道府県	登録団体名	相手国・地域
鳥取県	鳥取市・鳥取県	ジャマイカ
島根県	益田市	アイルランド
	邑南町	フィンランド
岡山県	岡山市	台湾
	真庭市	ドイツ
広島県	広島市	メキシコ
	府中市	メキシコ
	廿日市市	メキシコ
山口県	宇部市	スペイン、マダガスカル
徳島県	鳴門市・徳島県	ジョージア
香川県	高松市	台湾
愛媛県	松山市・愛媛県	台湾、モザンビーク
福岡県	北九州市	英国、ドイツ
	飯塚市	南アフリカ
	田川市	ドイツ、ベラルーシ
	大川市	ペルー
	築上町	パプアニューギニア、サモア、フィジー、ソロモン諸島、トンガ、キリバス、バヌアツ
長崎県	島原市	ドイツ
大分県	太分市	スイス
	別府市	ラオス
	中津市	マレーシア
	佐伯市	ベトナム
宮崎県	宮崎市	英国、カナダ
鹿児島県	龍郷町	台湾

【交流事業（ソフト）】

- 対象経費（一般財源）の2分の1を特別交付税措置

【施設改修（ハード）】

- 東京大会の事前合宿に活用する既存スポーツ施設を国際競技連盟基準（IF基準）に適合させるための改修事業に、地域活性化事業債（充当率90%、交付税措置率30%）を充当

【バリアフリー化（ソフト・ハード）】 ※ホストタウン以外も対象

- 民間施設、交通施設のバリアフリー化に対する特別交付税措置
- 公共施設等のユニバーサルデザイン化のための改修事業に、公共施設等適正管理推進事業債（充当率90%、交付税措置率30～50%）を充当

○オリパラ推進本部HP（ホストタウン）

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/hosttown_suisin/index.html

※ 関係府省庁の取組

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/hosttown_suisin/torikumi.html

○お問合せ先

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

〒100-8968 東京都千代田区永田町1-6-1 内閣府本府